

加害者にならないために

✓互いに人格を尊重して

すべての人々はお互いの人格を尊重する姿勢を持ちましょう。

✓固定的な性別役割の再考を

社会的に形成された性別意識や、性別役割観などを押し付けることは避けましょう。

✓立場が上の人(指導者や先輩)は十分な配慮を

反対意見や「ノー」という意思表示がないからといって、それが合意・同意とは限りません。

✓すぐに謝罪を

相手が自分の言動をハラスメントと受け止めていることがわかったら、すぐに止めて、誠実な態度で謝罪しましょう。

ハラスメントを見かけたら

✓見過ごさない勇気を

集団内でハラスメントの存在が黙認されてしまうと環境が悪化してしまいます。

✓相談室を勧める

相談を受けた場合は、必要に応じてハラスメント相談室を勧めてください。その際、相談者に同行することも可能です。

✓知り得た情報は慎重に

相談内容等の知り得た情報については、本人の意向を尊重し安易に漏らさず慎重に扱う必要があります。

ハラスメント被害に会った時は

✓ひとりで悩まないで

ハラスメントを受けていると感じたら、自分を責めたりせずに、まず身近な人に相談するか、ハラスメント相談室に連絡してください。

✓被害の記録を取ってください

あなたが受けた言動について、「いつ、どこで、だれから、どのようなこと」かわかる記録を残しておく、相談・申立ての際に役立ちます。

✓緊急の場合は警察にれんらくを

暴力行為などで、心身に危険を感じたり、緊急を要する場合は、迷わず周囲の人に助けを求め、警察に連絡をしてください。

ハラスメント相談室では

- ・ハラスメント問題の解決方法をともに考えます。
- ・家族や信頼できる友人、教職員と一緒に来室することもできます。
- ・ハラスメント予防のための取り組みをします。
- ・ハラスメントに関する必要な知識や情報を提供します。

専門相談員がお話を伺います

- ・相談者のプライバシーに配慮し、相談者の承諾なしに外部に情報をもたらすことはありません。
- ・必要な場合には、相談者の所属するキャンパス・付属校に外向くこともできます。

法政大学 ハラスメント相談室

開室時間 月～金曜日

9:30 - 11:30、12:30 - 16:30

(土日祝は閉室 11:30 - 12:30は応相談)

TEL 03-3264-4409

FAX 03-3264-4410

MAIL stopharass@hosei.ac.jp

〒102-8160

東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学 ハラスメント相談室 宛

どうぞ安心してご相談ください

詳しくは、法政大学ハラスメント相談室の公式Webサイトをご覧ください。



法政大学 ハラスメント相談室



これって、
ハラスメント？



法政大学

ハラスメント相談室



何度断っても
食事に誘われる

みんなの前で
言わなくても...

大学におけるハラスメントとは

教育・研究・就学・就労のあらゆる場面において相手の意に反した不快な言葉や行為を指します。

相手が「不当」「不快」と受け止める場合はハラスメントになる場合があります。

価値観や感じ方の基準はそれぞれ多様なものであり、指導を意図した言動であっても相手から思わぬ誤解を受けることもあります。

“君の代わりは
いくらでもいる”

“忙しい”
“自分で考えろ”
“もう来るな”

法政大学では ハラスメントを 禁止しています。

ハラスメント防止宣言

●セクシュアル・ハラスメント

本学構成員が、教育・研究、就学、就労の環境において、他の構成員に対して不適切で不当な性的言動を行うことにより、その者に教育・研究、就学、就労における不利益又は不快を与え、精神的・身体的損害を与えることを内容とする人格権侵害をいう。

- ・執拗・もしくは強制的に性的行為への誘いや交際の働きかけを行うこと
- ・性的な誹謗中傷を流布すること
- ・家族関係、友人、恋人等、プライベートな事柄について執拗に尋ねること

- ・「女らしくない」「男のくせに女々しい」等の、性差別・性役割観を押しつけること
- ・性的指向や性自認に関する差別的言動や嫌がらせをすること

※教員と学生、上司と部下のように地位の上下関係がある場合以外にも、教職員同士、学生間又は、学生から教職員に対して生じる場合もあります
また異性間だけでなく同性間で生じる場合もあります

●アカデミックハラスメント

本学構成員が、教育・研究、就学における権力を濫用し、他の構成員に対して不適切で不当な言動を行うことにより、その者に教育・研究、就学における不利益を与え、あるいはその教育・研究、就学に差し支えるような精神的・身体的損害を与えることを内容とする人権侵害をいう。

- ・学生を劣等者扱いするような侮辱的な対応
- ・正当な理由なく、教育・研究指導を拒否したり、学会や論文等で研究結果の発表の機会を与えないこと
- ・教育・研究に無関係な雑務または私用を強要すること
- ・正当な理由なく、提出された論文やレポートをうけとらないこと

●パワーハラスメント

本学構成員が、就労における優越的な地位を利用してその権力を濫用し他の構成員に対して不適切で不当な言動を行うことにより、その者に就労における不利益を与え、あるいはその就労に差し支えるような精神的・身体的を与えることを内容とする人格権侵害をいう。

- ・人格を否定する発言
- ・身体的・精神的な攻撃(強迫・侮辱・暴言など)をすること
- ・業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことを強制すること
- ・業務に対して、著しく不公平、不当な評価を行い、意図的に昇進、昇格を妨害すること

●妊娠・出産等に関するハラスメント

本学構成員が、他の女性構成員に対して、妊娠・出産又は妊娠・出産に関する就労上の制度・措置の利用及び利用の申出に対して不適切で不当な言動を行うことにより、精神的・身体的苦痛を与えることを内容とする人格権侵害をいう。

- ・上司・同僚が「妊娠はいつ休むかわからないから仕事は任せられない」と繰り返し言い、仕事をさせないこと
- ・上司・同僚が「妊娠するなら忙しい時期を避けるべきだった」などということ
- ・妊娠中に時間外労働の免除について上司が「次の昇進はできないと思ってほしい。」と言うこと

●育児休業・介護休業等に関するハラスメント

本学構成員が他の教職員に対して、育児休業又は介護休業に関する就労上の制度・措置の利用又は利用の申出に対して不適切で不当な言動を行うことにより精神的・身体的苦痛を与えることを内容とする人格権侵害をいう

- ・育児休業の取得について「男のくせに育児休業をとるなんて上司があり得ない」と言うこと
- ・介護休業を取得したいと周囲に伝えた同僚に、「自分なら請求しない。あなたもそうすべき。」と言うこと

LGBTとは

セクシュアル・マイノリティの総称のように使われることがありますが、本来はレズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)をあらわす言葉です。

SOGIとは

Sexual Orientation and Gender Identityの頭文字で、「性的指向(好きになる性)性自認(心の性)」という意味です。セクシュアリティとは、性的少数者に限らず広くすべての人に関係するという視点から国際的に使われています。

デートDVとは

交際の恋人などから受ける暴力のことで、身体的暴力のほか、交友関係を細かく監視するなどの行動制限、性行為の強要なども含まれます。被害が深刻になる前にできるだけ早く対応することが大切です。

